

## 朝鮮刺繍画・三越ライオン像・御園座緞帳の除幕式

日本体育大学 東京・世田谷キャンパスにおいて、3月20日（金）ご来賓を含めて約350人余りの参加者により、朝鮮刺繍画・三越ライオン像・御園座緞帳の除幕式が行われました。教育研究棟5階中会議室において、開式の辞、松浪理事長挨拶・谷釜学長挨拶に続いて除幕式に入りました。

1部 朝鮮刺繍画「東海の朝焼け」の除幕式は、教育研究棟5階中会議室で行われ、除幕後、ご寄贈を頂いた斐 光幸様へ感謝状の授与が行われました。



## 【ご寄贈頂いた美術品】

キム チョンヒ

### ①「東海の朝焼け」 朝鮮刺繍 金 清嬉 作

朝鮮民主主義人民共和国を代表する人間国宝たる金清嬉 女史の作品で、世界的にも高い評価を獲得しその作品は多くはない。

荒々しい日本海の波が、朝鮮半島の岩々に砕ける様子を 見事に写實的に表現している。朝焼けの波しぶきが、鑑賞者の眼前にまで飛んでくるほどに立体感に溢れる名作。

本学と朝鮮のスポーツ交流を記念して、朝鮮大学 OB の 裴光幸氏より2014年に寄贈された。

(金 清嬉 1947年 南浦市出身)

三越ライオン像の除幕式前に教育研究棟1階正面玄関において、設置校の柏日体高等学校の吹奏楽部及ダンス部のご協力により、日体大応援歌『若き獅子』『あけゆく日本』朝鮮民謡『アリラン』の演奏及演技を行いました。



日本体育大学 東京・世田谷キャンパス  
教育研究棟5階 2501 中会議室



2部 ライオン像除幕式は教育研究棟1階正面玄関で行われました。除幕後、ご寄贈を頂いた(株)三越伊勢丹ホールディングス会長石塚邦雄様、ライオン像の台座のご寄贈者(株)石の山本社長山本泰輔様へ感謝状の授与が行われました。

引き続き、ご来賓よりご祝辞を頂きました。また、『三越ライオンにまたがると願いが成就する』ことを披露し、本学教員田中理恵さん、本学客員教授の室田 淳様にライオン像へまたがって頂き、参加者と共にお二人のさらなるご活躍を祈念いたしました。





## 「三越ライオン像」、「台座」

三越日本橋本店正面入口では、左右の風格ある大きなライオン像が、お客さまを迎え入れてくれる。「気品と勇気と度量」の象徴として、また人々の守護神として大正3年(1914年)に設置された。

ロンドンのトラファルガー広場にあるネルソン記念塔下のライオン像をモデルとし、ロンドンで鑄造され、三越のシンボルとして親しまれてきた。青銅製である。

大勝利に導いた英雄ネルソン提督の偉業を讃える巨大な4頭の百獣の王・ライオン、大英帝国への侵略をナポレオンに諦めさせた勝利像でもあった。黄金のライオンは、王室の紋章であり、深紅のライオンはスコットランドの紋章である。

三越のライオン像は、「必勝祈願の像」「願いをかなえてくれる像」としても有名で、背にまたがると成就すると言い伝えられてきた。

三越ライオン像設置100周年と日本体育大学創立125周年を記念して、シンボル・マスコットをライオンと制定している日本体育大学へ、この威厳を漂わす気品あふれるライオン像が三越より2015年春に寄贈された。

このライオン像は、昭和47年(1972年)三越創業300年記念として三越日本橋本店のライオン像をモデルとして造られたものである。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功と獅子吼する勇者たる日体大生への期待も籠められている。また、ライオン像を支える台座は、南米ブラジル産の花崗岩(アマゾングリーン)であり、ライオン像の重厚さをより一層引き立てている。アマゾングリーンは世界で年間50㎡程しか採れない貴重な石材である。この度のライオン像の寄贈に合わせ、株式会社石の山本(福岡県久留米市)より寄贈された。



日本体育大学 東京・世田谷キャンパス

教育研究棟1階 正面入口

3部 御園座団長『富士に献花』除幕式は、スポーツ棟2階メインアリーナで行われました。除幕後、(株)御園座代表取締役社長長谷川栄胤様へ感謝状の授与が行われました。引き続き、ご来賓より祝辞を頂きました。



## ② 「御園座緞帳」

名古屋の由緒ある歌舞伎公演館「御園座」から 2014 年に寄贈された緞帳。文化勲章を受章された片岡球子画伯の原画『富士に献花』で、綴れ織り製。日体大校歌にある富士山をモチーフにした、わが国の織物技術の最高傑作。すべて手織りで、ふんだんに金糸が用いられている。

(縦 7.5m、横 24m、重量1トン。京都・川島織物製作)



日本体育大学 東京・世田谷キャンパス  
スポーツ棟 2階 メインアリーナ

片岡球子

1905 年(明治 38 年)1月5日、北海道札幌市に生まれる

1922 年(大正 11 年)女子美術専門学校(現・女子美術大学)日本画科高等科入学

1966 年(昭和 41 年)女子美術大学客員教授、愛知県立芸術大学日本画科主任教授に就任。

「面講」シリーズ制作開始。このころから「富士山」シリーズを制作開始

1986 年(昭和 61 年)文化功労者に選ばれる

1989 年(平成元年)文化勲章受章

2008 年(平成 20 年)急性心不全のため 103 歳で死去。叙従三位

型破りな構成と大胆な色使いから、一部の人々からその画風は「ゲテモノ」とまで呼ばれて思い悩むが、小林古径は「今のあなたの絵はゲテモノに違いないが、ゲテモノと本物は紙一重の差だ・・・あなたの絵を絶対に変えてはいけない・・・」と励ました。球子は美しく描くことが全てではないと信じ、自身の信念に従った創作を続け、やがて従来 of 日本画の概念を揺るがすような力強い表現を確立した。「面構(つらがまえ)」・「富士山」シリーズでは特に高い評価を受ける。

4 部 餅つき講演を教育研究棟 1 階 N レストランで実施し、出席頂いた方々に、つきたての御餅を賞味して頂きました。



(写真は日体幼稚園児)

以上をもちまして除幕式は終了いたしました。